第 16 号
2013 年 2 月吉日

日本福祉大学付属高等学校同窓会会報
たちばな

会長挨拶　ご　挨　拶

同窓会会長　丹羽　典彦

同窓会員の皆様におかれましては、各界・各地でご活躍のこととお喜び申し上げますとともに、本会活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

皆様もご案内のとおり、私どもの母校は、昭和 33 年に開校以来 50 数余年、この間、校地の移転などありましたが、今日では美浜町にしっかり根付き、卒業生も 13,100 名を超え、後輩の在学生たちも勉学に、各種クラブ活動に頑張っており、先輩の一人としても誇りに思っております。

こうした中で、私ども同窓会は会員相互の親睦と母校の発展に寄与するため、各卒業年度の幹事さんを中心とする同期会やクラス会活動を推奨・支援するとともに、会報の発行やホームページの運用に努めてまいりました。

こうした中で、2007 年度からは、財政基盤の確立を目指して、卒業生の皆さんに年額 1,000 円の会費の納入制度を導入するとともに、同期会の開催時の支援策を講じてきましたが、私ども役員の努力不足もありまして十分にご理解とご活用がされておらず、従前から全会員への会報の配布体制が出来なくなり、ホームページへの掲載の重点を移しておりますことをご理解いただきたいと思います。

最後になりますが、経済の低迷等による家計の圧迫や公立高校の授業料無償化もあり、私学への進学が大変厳しい状況です。これらの状況を踏まえ、従来からの「在校生特別奨学金事業」に加え、2009 年度からは推薦入試にむけて「入学検定料免除制度」の推薦者を担っております。また、2012 年度からは推薦入学生に限り「卒業生の子ども・弟妹奨学生制度」も開始されました。ぜひご活用いただきますとともに、関係する方々へのご周知をお願いするところであります。

今後とも、本会事業にご協力と参加を下さいます様お願いいたします。

2013 年度の主な事業のお知らせ

同窓会幹事会
日時　2013 年 5 月 25 日（土）13：00
場所　日本福祉大学付属高等学校

3 団体合同講演会
日時　2013 年 5 月 25 日（土）14：45
場所　日本福祉大学
講師　鎌田　實氏（医師・作家）

ゆりのき祭　開催のお知らせ
日時　2013 年 9 月 29 日（日）10：00 ～ 15：00
内容　模擬店、同窓会活動紹介、交流など

■ 同窓生皆様のご参加をお待ちしています。
前日準備（13：00 頃～）もぜひご協力ください！

同期会等開催費助成制度のご案内

本会の中心的活動の一つである卒業同期会等の開催を促進するために、【同期会等開催助成】をおこなっています。クラス会やサークル OB•OG 会の開催についてもこれを準用していますので、同期会等催される際にはご一報ください。

1 申請者
本部に登録された各卒業年度の幹事は、会長宛に【同期会等助成申請書】を提出してください。なお、同期会・クラス会の開催にあっては宛名シール（同窓会名簿による）の発行を希望するときはその旨を申し出て。

2 助成金の交付
会長は、申請の事実を確認し幹事宛に各年度一回に限り、次の金額を交付します。
⑴同期会の開催にあっては、10,000 円。
⑵クラス会及びサークル OB・OG 会にあっては、3,000 円。

3 その他
⑴申請は、当該年度に開催する同期会等を対象とします。
⑵同窓会本部は、申請者に対し【同窓会費納入のお願い】文書を参加予定者分送付します。
なお、高校や学校法人が発行するパンフレット等を希望するときは提供します。
⑶助成金の交付を受けた幹事は、所定の報告書を提出してください。
⑷参加者に対し同窓会本部が要請する「会員会費のお願い」を周知していただき、ぜひ当該年度分の納入を呼びかけてください。（後日、氏名・金額を明記して送金・送付）
⑸本部役員に出席の要請があるときはその旨申し出てください。常任幹事で調整します。

同 窓 会 活 動 報 告

1. 会務の運営強化
2. 委員会活動の強化推進
3. 会員・幹事等交流事業の実施
4. 会員・ホームページを中心とする広報活動の実施
5. 在校生との交流・支援事業の実施
6. 母校並びに関係支援団体との連携強化

同期会報告

2012 年 3 月 10 日（土）

主催者　小谷　功／赤座美雪／松永　浩／野村明美
卒業年　1978 年度卒 19 期生
開催場所　名古屋市中区金山 1 丁目 1 番 1 号
ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋

2012 年 9 月 16 日（日）

主催者　神谷一利／下郷幸弘／服部正樹
卒業年　1977 年度卒 18 期生
開催場所　名古屋市中区栄 3 丁目 3 番 1 号
丸栄　屋上ビアガーデン

会 計 報 告

2011 年度同窓会会計決算

（収入の部）

項　目	2011 年度予算額	2011 年度決算額	備　考
前年度繰入金	1,953,708	1,953,708	
入会金収入	775,000	755,000	入会金（@5000 × 151 名）
会費収入	100,000	54,400	
大同窓会会費	0		＊ 2008 年度のみ
利息収入	500	302	銀行利息（普通預金のみ）
雑収入	0	0	
合　計	2,829,208	2,763,410	

（支出の部）

項　目	2011 年度予算額	2011 年度決算額	備　考
事務費	100,000	3,365	＊業務費
消耗品費	30,000		0
印刷費	50,000		0
通信費	10,000		0
アルバイター費	0		
雑費	10,000	3,365	残高証明書手数料、特別給付選考委員会旅費
会議費	250,000	61,947	＊会議運営費（通信費、会議費、交通費）
総会	0		実施予定なし
幹事会	60,000	25,820	1 回
常任幹事会	90,000	36,127	5 回
委員会	100,000	0	
事業費	1,377,500	912,475	＊各事業運営費
文化講演会	100,000	36,782	三団体合同文化講演会負担分
会報発行	500,000	442,400	印刷費、発送作業費、発送料
交流企画	100,000	30,575	ゆりのき祭企画
ホームページ運営	350,000	224,070	委託費
特別給付奨学金	100,000	100,000	積立拠出
大同窓会運営費	0		＊ 2008 年度単年事業
新会員記念品	77,500	68,386	卒業証書ファイル贈呈
同期会支援金	150,000	10,262	19 回生
備品費	50,000	7,484	パソコンリース料
予備費	1,051,708	0	
支出合計	2,829,208	985,271	
次年度繰越金	0	1,778,139	
合　計	2,829,208	2,763,410	

2012 年度同窓会会計予算

（収入の部）

項　目	2012 年度予算額	備　考
前年度繰入金	1,778,139	
入会金収入	810,000	入会金（@5000 × 162 名）
会費・寄付金収入	50,000	会費（@1000 × 50 名）
大同窓会会費	0	＊ 2008 年度のみ
利息収入	302	銀行利息
合　計	2,638,441	

（支出の部）

項　目	2012 年度予算額	備　考
事務費	100,000	＊業務費
消耗品費	30,000	
印刷費	50,000	
通信費	10,000	
アルバイター費	0	
雑費	10,000	残高証明書発行手数料、特別給付奨学金選考委員会旅費など
会議費	250,000	＊会議運営費（通信費、会議費、交通費）
総会	0	実施予定なし
幹事会	60,000	@60000 × 1 回
常任幹事会	90,000	@15000 × 6 回
委員会	100,000	各委員会
事業費	1,283,000	＊各事業運営費
文化講演会	100,000	運営費負担分＋懇親会負担分
会報発行	500,000	
交流企画	100,000	ゆりのき祭、役員との交流ほか
ホームページ運営	350,000	年間契約料、個別メンテナンス費
特別給付奨学金	100,000	積立金
大同窓会運営費	0	＊ 2008 年度単年事業
新会員記念品	81,000	卒業証書ファイル寄贈（@500 × 162 名）
同期会支援金	52,000	5 件見込み
備品費	10,000	パソコンリース料
予備費	995,441	
支出合計	2,638,441	
合　計	2,638,441	

同窓生の皆さん！会費（一人年 1,000 円）の納入、寄付にご協力ください

ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900　店番：089　種目：当座　店名：〇八九店
口座番号：0169025　加入者名：日本福祉大学付属高等学校同窓会

2012 年度　常任幹事会　役員名簿

役　員	氏　名	卒業年度（西暦）
会　長	丹羽　典彦	1960 年度卒業
副会長	池田　修三	1962 年度卒業
	小塚　光夫	1968 年度卒業
会　計	西村　容子	1978 年度卒業
	迫田　真希	事務職員
常任幹事	福岡　正之	1971 年度卒業
	富岡　隆治	1983 年度卒業
	古川　裕資	1984 年度卒業
	吉村　和幸	1984 年度卒業

常任幹事	新美　滋啓	1987 年度卒業
	半田こすも	2000 年度卒業
	江ノ上敦士	2001 年度卒業
	北浦　　稔	2005 年度卒業
	塚田　康人	2005 年度卒業
監　事	小林　純穂	1987 年度卒業
	堀場　純矢	1993 年度卒業
顧　問	岩本　憲之	教　頭
	君田　竜一	事務長

役員紹介

回　生	卒業年度（和暦）	卒業年度（西暦）	1	2	3	4	5
1	昭和 35	1960	（佐藤　友彦）	＊丹羽　典彦			
2	36	1961	桜井　敏寿				
3	37	1962	＊池田　修三				
4	38	1963	（山東　克彦）				
5	39	1964	吉田　孝仁	水野　義広	水野　孝安		
9	43	1968	大久利一男	＊小塚　光夫			
12	46	1971	河村　　昇	＊福岡　正之			
14	48	1973	山田　順子	青山　伸吉			
15	49	1974	水野　英子	古澤美代子			
17	51	1976	平瀬　哲則				
18	52	1977	中村　勝彦	鬼頭　和則	青山　智弘	高木　真澄	
19	53	1978	＊西村　容子	桂　　佳男			
20	54	1979	高垣　　充				
21	55	1980	筧　　重和	菊地　淳子			
22	56	1981	岡本　吉治				
23	57	1982	川瀬　克幸	（渡辺　美雪）			
24	58	1983	＊福井　政浩	榊原　京子	樋口　吉己	＊富岡　隆治	
25	59	1984	＊古川　裕資	大井智穂子	＊吉村　和幸		
26	60	1985	福地　充洋				
27	61	1986	松田　洋幸				
28	62	1987	＊小林　純穂	＊新美　滋啓			
29	63	1988	渡邊真理子				
30	平成元	1989	仲野　　智	久田　里子			
31	2	1990	瀬尾　隆之	中野　ゆか			
32	3	1991	木俣　聖佳				
33	4	1992	冨田　達郎	竹川　寅之			
34	5	1993	岩田佳奈子	西　　将志	藤原　聡子	＊堀場　純矢	
35	6	1994	白井　雅樹	（榎戸　幸子）			
36	7	1995	佐藤かおり	鶴長　泰輔			
37	8	1996	布目　達彦				
38	9	1997	尾之内　童	白石　優理	長谷川純子	宮川　鮎美	寺澤　由紀
39	10	1998	河内　美和				
40	11	1999	吉口　史晃				
41	12	2000	鵜飼　健史	御手洗　旭	＊半田こすも		
42	13	2001	＊江ノ上敦士	武田　恵子	廣瀬　美子		
43	14	2002	大久利勇輝	山崎由香里	佐々木諒真	榎本　千香	
			長坂　創太	久野　達也	堀田　瑞樹	深谷　愛美	
44	15	2003	有馬　将太	今井　佐栄			
			神野　由貴	田島由佳子	山下さなえ	野々垣聡子	鈴木　警史
			小野　七絵	内田　愛	小川　友子	宮澤　枝里	根崎　芳行
			小牧　直哉	相羽　優香	小山　奈未	深谷　典子	
45	16	2004	清水　大介	村上　辰之	山下　雄規	中平　　猛	
46	17	2005	＊北浦　　稔	＊塚田　康人	水谷佳那子	菊地　宏晃	渡辺　拓也
			舟橋　佑希				
47	18	2006	永田　悦子	生田　卓也	竹内　　甫	大河内　恵	小島　祐助
			浜野　由莉				
48	19	2007	鶴見　　匠	眞鍋智奈実			
49	20	2008	沖田　昌紀	椎葉　　梢			
50	21	2009	竹内　航太	小田ひとみ			
51	22	2010	青山　聖恵	長屋亜矢子			
52	23	2011	武田　　颯	梶原　裕子	浅井真莉子		

＊：役員　　（　）：世話人

同 窓 生 の 活 躍

▣石川　圭花さん（写真家）（1984 年度卒）

2012/11/10 取材　広報委員長：富岡隆治（1983 年度卒）

例年 11 月に地域の方や PTA、生徒も講師として行なっている公開土曜講座。2012 年度は卒業生の石川圭花さんを講師に招くと言うので、取材を兼ねて講座に参加してきました。

講座は、『写真史の冒頭』から始まり、『私が写真をはじめた切掛け』として高校時代の話にも触れられ、最後は石川さんの『作品鑑賞』で締めくくられました。

生徒たちは、「写真家の始まりはここにある」と言う石川さんの高校時代の話を興味深く聞き、作品を見る目も熱心でした。

講座後に、講座の感想など、石川さんにお話を伺いました。（以下、石川さん＝石川、富岡＝広報）

広報：石川さんは美浜校舎の最初の 1 年生ですよね。

石川：そうです。当時は犬山から通学していました。

広報：当時の日本福祉大学付属高校の生徒はどういうイメージでしたか。

石川：自主性が高く、生徒自ら、それも集団でいろんなことをしていました。卒業式、入学式はイベント感覚で、パンフレットも作りましたね。特に思い出に残っているのが、卒業式で歌を作ったことです。テープに残したんですよ。

（その後、数年間は、卒業式に歌を作るのが引き継がれましたと宮本先生が仰っていました。）

講座の様子

広報：今回、母校で講師をされて、いかがでしたか。

石川：自分が講師を引き受けたものの、プレゼンテーションの経験はゼロで、「終了時間より早く終わってしまうのではないか」、「興味を持って聞いてもらえる内容だろうか」と不安で、不安で、講座前日の深夜まで準備していました。

インタビュー風景

しかし、実際、話し始めると時間が早く過ぎて、最後は駆け足状態になってしまい、残念！

講座終了後に、受講した生徒さん達が書いた講座の感想文を読ませて頂いたのですが、好意的な内容でとてもうれしいです。写真について少しは伝える事ができたかなと、手応えのようなものを感じました。

拙いプレゼンテーションにお付き合いしてくださった生徒さん達に、こちらがお礼を言いたいですね。私の方が勉強させて頂いたというのが私の実感です。このような機会を与えてくださった先生方にも感謝しています。

石川さんのホームページ

http://www.asahi-net.or.jp/~qe9k-iskw/

▣浅井　信好さん（舞踏家）（2001 年度卒）

－現在の職業について教えてください。

舞踏家と現代美術家です。簡単に言ってしまえば、ダンサーと空間デザイナーのような仕事です。

－付属高校生時代に一番印象に残っていることはなんですか。

もちろん、ダンスサークルでの活動ですね。高校時代のほとんどをダンスに費やしていたので、それ以外にはないですね。

－今の職業につくにあたり、きっかけ、ターニグポイントは何だったでしょうか。

高校 3 年の頃に日本福祉大学を受験するか、東京でプロのダンサーを目指して専門学校に行くか悩んでいました。

将来設計を考えれば、大学進学を選んでいたと思いますが、私は自分のやりたいことを選んで上京する道を選びました。

その選択は、間違っていなかったと思います。

しかし、好きなことを仕事にするということは楽しいことばかりではありません。苦しいことが 8 割、楽しいことは 2 割です。

さらに、その仕事で世界一を目指すとなれば、想像を絶するような厳しい現実と向き合う日々です。

好きなことを仕事にしていくことは続けることも地獄、辞めることも地獄だと思うことがあります。

私はそれでも、続ける地獄を選ぼうと考え、世界中を仕事場として、踊り続けています。

何故、そうまでしてもこの仕事が続けることができるのかと言うと、単純に好きだからでしょう。そして、この仕事に生き甲斐を感じ､続けることで自分とは何者であるかという存在意義を知るための最良の策だからだと思います。

みなさんにも学校生活、部活、プライベート、受験など本人だけが感じる苦労や喜びがあると思います。

かけがえのない仲間がいるからこそ、共有できる喜びもありますが、きっと、皆さん一人一人にしか感じられない大きな感動もあったと思います。そういった感動はこれからの人生の糧となり､色褪せることはなく､年月が経つ程､美しい色彩を放つ思い出と変化していきます。

苦しいことから逃げることなく、これからも美しい思い出を増やしていって欲しいと思います。

－今後、公演したい国や地域、希望、夢について教えてください。

2 月には 7 年を費やし、製作してきた作品をパリで発表するために展覧会を行い、製作拠点をイスラエルからパリへ移します。

その後、ロシア、ヨーロッパ、南米など 7 ヶ国で公演や展覧会を予定しています。

これまでに 30 ヶ国 200 都市以上の場所で公演を行ってきましたが出来ることならば、アフリカなど、まだ、公演を行ったことのない国へ行きたいと考えています。

まだ見ぬ世界の文化に触れることは自身の作品をさらに高見へと上るための原動力としてくれると思います。

－在校生に、何かエールやコメントをお願いします。

今、皆さんに将来の夢があるのであれば、迷わずにその道を進んでいってください。

道半ばで夢を諦めることもあるかもしれません。そんな時は仲間や家族に相談をすることも大切です。

しかし、最後は自分自身で選択をし、後悔のない人生を歩んでいって欲しいと思います。

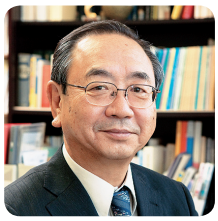
浅井さんのホームページ
http://nobuyoshiasai.com/

同窓会ホームページ 移転のお知らせ
https://www.netnfu.ne.jp/koko-dosokai/

▶▶ 卒業生の会社、お店のホームページを紹介しませんか？

高 校 の 近 況 報 告

校長挨拶



母校は成長していきます

校長　平野　征人

今年は学園創設60周年の年です。学園が美浜キャンパスに移って30年が経過し、杁中時代30年間と並びました。大学に遅れること5年で創設された付属高等学校は、今年55周年を迎えることになります。昨年より学園創設60周年記念の施設設備整備事業として教室・体育館の全面的リニューアルを進め、2学期以降、生徒はうんと明るさを増した感じの環境で学習や諸活動に取り組んでいます。ひとえに同窓会はじめ関係のご理解ご支援のおかげと感謝申し上げます。また同窓の皆様のお子様に一人でも多く入学いただきたいとの思いから、昨年来学校の様子を知らせるパンフなどを知多半島居住の会員の方々に送付し、入学検定料免除などの制度を新設いたしました。おかげで付属高校や福祉大学卒業生のお子様を一定数迎えることが出来ました。ご協力に御礼申し上げます。

昨年8月には、陸上部新海哲君がインターハイに、和太鼓部が総文祭にそれぞれ出場し、また和太鼓部は中国中央民族大学舞踏学院の学生たちとの文化交流に参加し、6月に北京で、8月には中国側を招いて愛知県芸文センターでそれぞれ公演をさせていただきました。

12月には京都府主催「第1回伝統文化フェスティバル」で招待公演をする機会も得ました。吹奏楽部も昨年来活動が活発となり、各種コンクールなどでの発表が多くなっています。他方でここ1・2年、福祉大学への進学者の他、名古屋大学や早稲田大学などいわゆる難関大学への合格者が生まれてくるようになってきました。学習面での成長と部活動の活発化を両輪に、学校の一層の前進を図っていきたいと考えています。今後も母校へ変らぬご支援をいただきますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

○恩師は今○

浅生　京子

在職：1976年4月～2012年3月

2012年3月末、36年間の教員生活に終止符を打ち、退職いたしました。

これまでの私の人生は付属高校なくしてはあり得ません。

専任女性教師が少数だった、20代のプレハブ校舎時代、キャンパス総合移転…その間に数度の引越しと出産・子育て。

思い返せば波乱万丈、超過密スケジュールで、教師として、親としてやってこられたのも、職場の先輩教師の方々の励ましやご指導と、ぶつかり合いながらも生徒たちと真正面から関わりあえたこと、保護者の皆さまにご理解をいただいたことによるものです。

ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

退職した今、週2日、非常勤講師として高校にお世話になり、楽しく授業をしています。

私生活では趣味や健康維持に努めつつ、心穏やかにゆったりとした時間を楽しんでいます。卒業生や学生時代の友人と過ごす有意義な時間が増え、人の結びつきや心の通い合い愛の素晴らしさを再発見しています。

これからも、付属高校で得られた宝物を大切にして、第二の人生を誇り高く、健やかに送りたいと思っています。

皆さまとの再会を楽しみにしています。

2012年度ゆりのき祭

本校では毎年１学期のうちから、文化祭のクラス企画は何をするか、ということを各クラスで話し合い準備を進めていきます。特に３年生は高校生活での最後の文化祭として、自らの進路を考えることと同時並行で力を入れて準備をします。先輩方から引き継いできたこの伝統は現役の生徒も変わらずに受け継いでいます。今年も、まとまった時間を取ることができる夏休みにたくさんのクラスがフィールドワークに取り組みました。

この夏はロンドンで熱戦が繰り広げられ、いくつかのクラスがこの世界的イベントを取り上げました。特に2Dは、パラリンピックのゴールボール金メダリスト中嶋茜選手（日本福祉大学）に直接インタビューをすることができ、緊張しながらも生徒は大喜びでした。

また、東日本大震災を風化させないために、本校から社会に発信する、として1A、2C、3Dが東北に足を運び現状を目の当たりにしてきました。他にも学校の中だけでは学べないことを現地でつかんできたクラスがたくさんあります。

生徒会としては「震災復興支援～New one step～」を文化祭テーマに掲げ、初日の全体講演の講師として写真家の方（2011年の紅白歌合戦で使用された震災状況の写真を撮影された方）をお招きする予定でした。その方にお借りした写真パネルを事前に校内の廊下に展示させて頂くなど準備は万端でしたが、諸事情により結果的に延期することになりました。生徒の準備にかけてきた想いなどを考慮して、開催時期を約１ヶ月遅らせ公開範囲は生徒の保護者まで、という例年とは違う形式での開催でした。生徒たちは、クラス企画を仕上げていくためのモチベーションを維持することに苦労しましたが、代替開催では素晴らしい展示や発表ができました。生徒の感想は、「今年の展示は自分たちが１年生の頃よりクオリティーが高く楽しかった。」「文化祭ができてよかったし、楽しかった」というものでした。また、事後アンケートの結果から「文化祭を通してクラスは団結した」と全員が感じていることも分かりました。他にも「来年は一般公開できるといいです」というものもありました。

来年度は例年通り一般公開で開催したいと考えています。その際には、卒業生の皆様にぜひ参加していただきたいです。今年度は限られた範囲での公開でしたので、毎年好評の同窓生ブースの設立をも断念せざるを得ませんでしたが、来年度は再び盛大なブースになるように合わせてお願い致します。

生徒会顧問　清木敦史

教室リニューアル！

2012年夏に教室のドア、机、椅子等をリニューアルし、体育館に冷暖房を設置しました。

2012 年度在職教職員紹介

職　務	氏　名
校　長	平野　征人
副校長	竹田　　学
教　頭	岩本　憲之

教　務　部　長	山口喜久枝
生活指導部長	竹内　智司
進路指導部長	伊藤　克之
渉　外　部　長	今田　和弘

1 学年主任	松永　太志
2 学年主任	加賀　敏美
3 学年主任	日高　幸浩

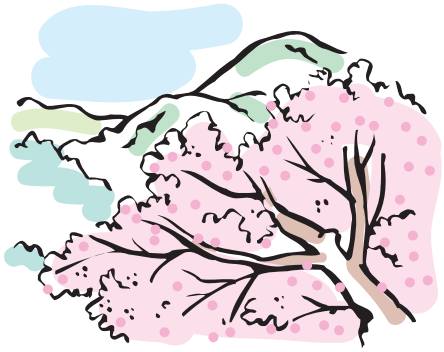
氏　名	担当教科
青木　律子	英　語
荒谷　美香	保健体育
石﨑　　摂	国　語
伊藤　克之	国　語
今田　和弘	地歴公民
岩橋由美子	養　護
岩本　憲之	英　語
岡部　道宣	数　学
奥田　章子	英　語
加賀　敏美	数　学
神谷　貴史	保健体育
河合理恵子	理　科

氏　名	担当教科
君塚　　麿	数　学
近藤美穂子	地歴公民
榊原　智穂	英　語
重藤　信夫	英　語
清木　敦史	理　科
竹内　智司	保健体育
武智　静香	保健体育
田中　理恵	英　語
土屋　貴則	数　学
丹羽将一朗	地歴公民
長谷川友紀	英　語
半田こすも	国　語

氏　名	担当教科
日高　幸浩	数　学
古川　蘭	国　語
松永　太志	地歴公民
松久　直史	地歴公民
宮東　靖浩	理　科
宮本　純	理　科
三好　祐輔	数　学
向井　直紀	地歴公民
村橋　俊介	保健体育
森　あゆみ	国　語
山口喜久枝	国　語
山田　育世	情　報

2011 年度をもって 7 名の先生が退職されました

氏　名	担当教科
浅生　京子	英　語
大石　　治	英　語
大﨑　清志	地歴公民
鈴木　脩平	理　科
東海　英子	国　語
冨本　慶子	国　語
半田　裕嗣	数　学



☆★編集後記★☆

会報 16 号を発行いたしました。今号はこれまでとは異なり、同窓生に取材を行い、先生、同窓生の方々にお願いして原稿を書いていただきました。

お引き受けいただきました方々に、心よりお礼申し上げます。

皆様ぜひお読みください。

今回の、会報発行に当たり、取材が出来たことは、自分にとって楽しくも有り、また、大変な面も有りますが、大変勉強になりました。

同窓会では、各卒業年度から、選ばれた幹事で各種の委員会を組織して活動していますが、まだまだ高校の先生や事務職員の方々の多くの協力によって活動が成り立っているのが、現状です。

卒業生の皆様の行事への参加により、同窓会活動の充実を行っていきたいと思います。

日本福祉大学付属高等学校
同　窓　会

〒 470-3233　愛知県知多郡美浜町奥田字中之谷 2-1
TEL（0569）87-2311　FAX（0569）87-2312
https://www.netnfu.ne.jp/koko-dosokai/